

# 近代宮家における門跡制度の「遺産」

## Branch families of the Imperial House and legacy of the pre-modern Buddhist system in modern Japan

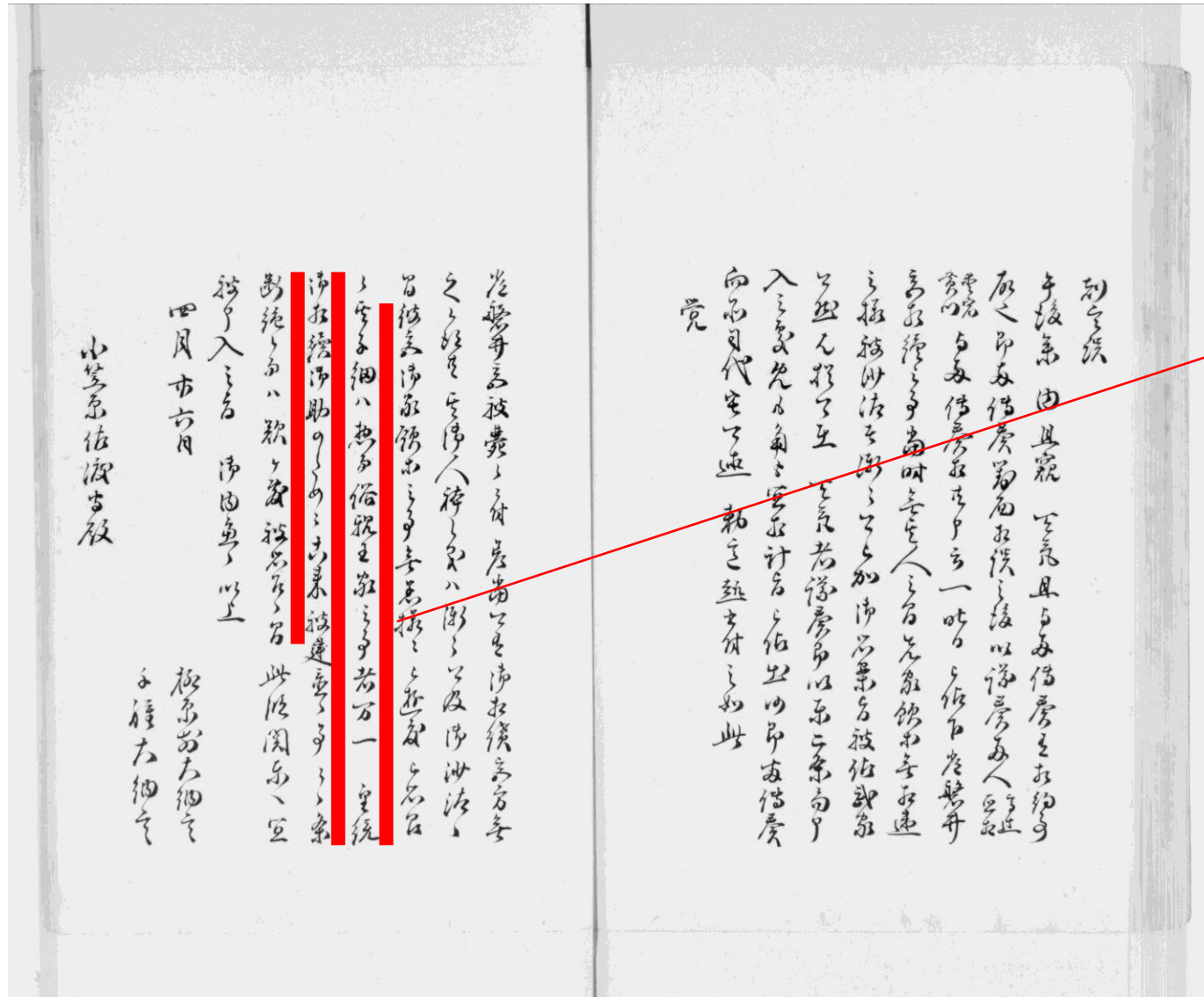
University of East Anglia イースト・アングリア大学大学院

Postgraduate Researcher 博士課程後期

Hirohito TSUJI 辻 博仁

[h.tsuji@uea.ac.uk](mailto:h.tsuji@uea.ac.uk)

# 宮家とは？



其子細ハ、惣而俗親王家之事者、萬一 皇  
統御相續のためニ古來被<sub>レ</sub>建置<sub>レ</sub>候事ニ  
候條、斷絶候<sub>レ</sub>ハ、歎个敷被<sub>レ</sub>思召<sub>レ</sub>候間、

・第102代後花園天皇、第111代後西天皇、第119代光格天皇は宮家出身

・近世には「**皇統御扣之家**」としての性質が確立

# 近世期の四親王家制度



勸修寺  
(宮門跡寺院)

- ・宮家数は四家に固定
- ・歴代当主は天皇の養子となり親王宣下を蒙る
- ・天皇の皇子による養継嗣相続が前提
- ・当主不在状態で宮家の枠組みが維持されることも
- ・儲君・宮家継嗣以外の皇族の大多数は宮門跡として出家
- ・禁中并公家中諸法度により事実上幕府の統制下
- ・宮中の席次は五摂家(近衛家・一條家・九條家・鷹司家・二條家)の下位

- **伏見宮** 応永16-昭和22  
祖・北朝3代崇光天皇皇子 榮仁親王
- **桂宮** 天正17-明治22  
祖・106代正親町天皇皇孫 智仁親王
- **有栖川宮** 寛永2-大正11  
祖・107代後陽成天皇皇子 好仁親王
- **閑院宮** 宝永7-昭和22  
祖・113代東山天皇皇子 直仁親王

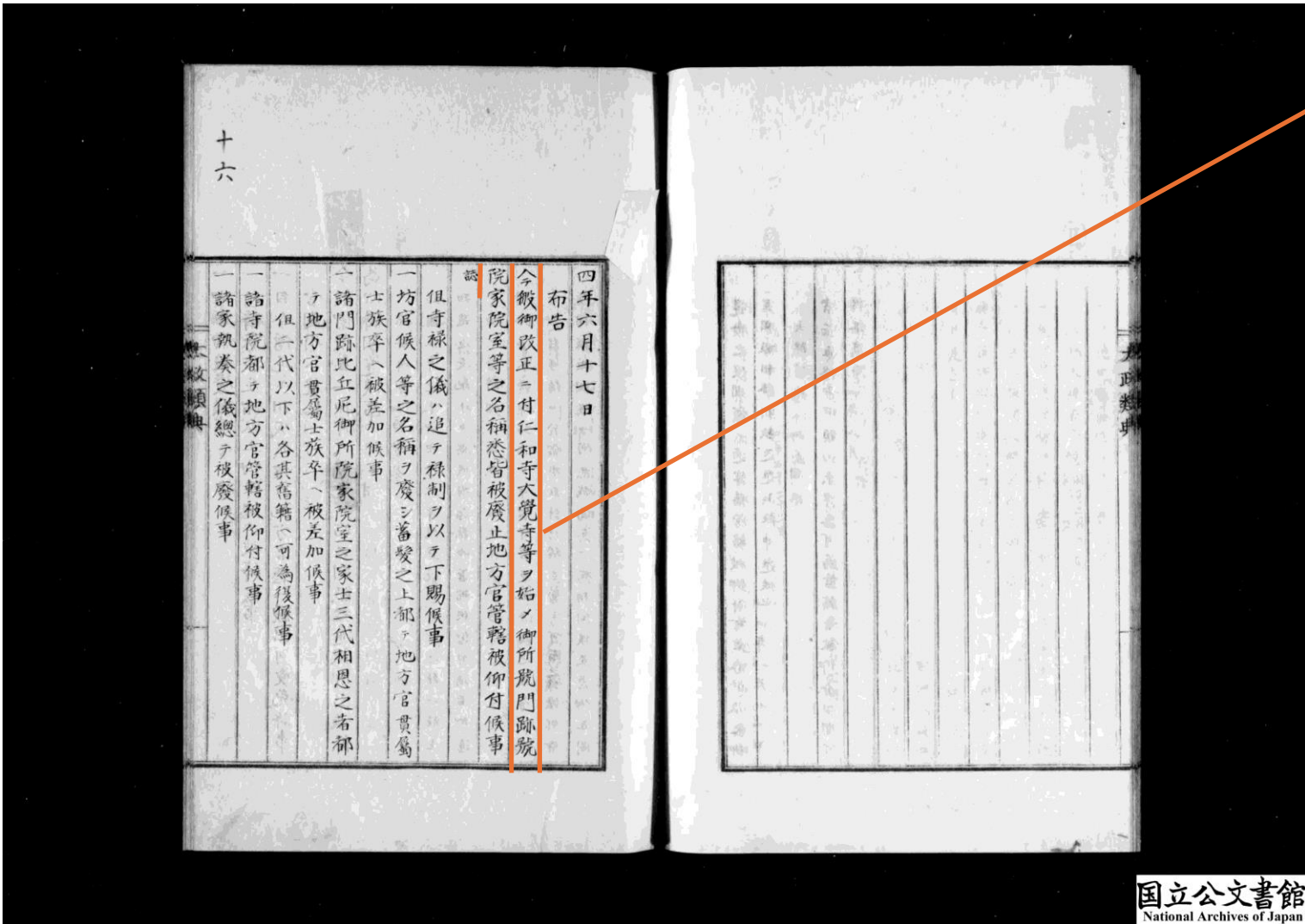
# 皇室ゆかりの門跡寺院

## 宮門跡(親王・王)

- 輪王寺
- 妙法院
- 聖護院
- 照高院
- 青蓮院
- 三千院
- 曼殊院
- 毘沙門堂
- 圓滿院
- 仁和寺
- 大覺寺
- 勸修寺
- 知恩院

## 比丘尼御所・尼門跡(内親王・女王)

- 大聖寺
- 寶鏡寺
- 曇華院
- 光照院
- 靈鑑寺
- 圓照寺
- 林丘寺
- 中宮寺
- 慈受院
- 三時知恩寺
- 法華寺
- 瑞龍寺
- 總持院
- 寶慈院
- 本光院



門跡号の廃止  
(太政官布告 明治4年6月17日)

皇族同士の養子縁組の禁止  
(明治皇室典範第41条)

法親王・入道親王の還俗  
(幕末-明治初期)

※神道は「決シテ宗教ノ事ニ非サルヘシ」



仏教は完全に皇室から排斥されたのか?

Grand Council of State, Meiji 4 (1871). 6. 17



初代 晁親王  
(文化13-明治31)



2代 菊麿王  
(明治6-明治41)



3代 武彦王→山階武彦  
(明治31-昭和62)

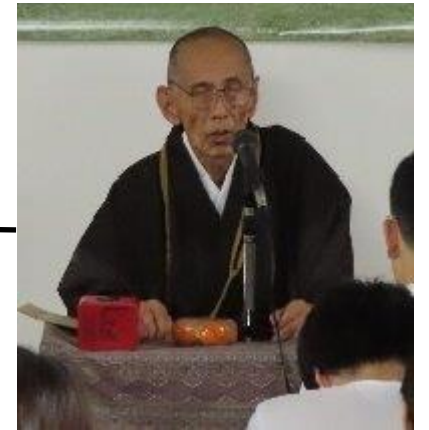
昭和22年、GHQによる占領政策の一環で皇籍離脱。

昭和3年、賜姓臣籍降下、筑波侯爵家を創設。

# 山階宮家略系譜 (元治元-昭和22)



藤麿王→筑波藤麿  
(明治38-昭和53)



筑波常遍  
(昭和10-)



久邇宮初代 朝彦親王  
(文政7-明治24)



久邇宮2代 邦彦王  
(明治6-昭和4)



久邇宮3代 朝融王→久邇朝融  
(明治34-昭和34)

昭和22年、GHQによる占領政策の一環で皇籍離脱。

昭和6年、賜姓臣籍降下、東伏見伯爵家を創設。



東伏見宮初代 依仁親王  
(慶応3-大正11)

祭祀の継承

# 東伏見家の系譜



邦英王→東伏見慈治  
(明治43-平成26)



東伏見慈晃  
(昭和17-)

# 明治維新後の尼門跡



文秀女王

- **文秀女王** (天保15-大正15)

伏見宮邦家親王第7王女。圓照寺門跡。明治6年、伏見宮家に復籍するが法体を許される。

- **久我誓圓尼** (文政11-明治43)

邦家親王第3王女。善光寺大本願。明治8年、還俗を拒否して久我通明の養子となる。

- **村雲日榮尼** (安政2-大正9)

邦家親王第8王女。瑞龍寺寺主。九條尚忠の養子。明治以降も還俗を拒否。日本赤十字京都支部篤志看護婦支会長としても活躍。



# 「氏(ウチ)」と「家(イエ)」の二重構造

氏 (clans) = 継承 (succession)

- 氏名 (姓)
- 男系の血統 (本家、「氏長者」)  
= 君主の場合、王朝の継続
- 祖霊祭祀 (氏神)
  
- 男系継承を絶対視
- 能力や人柄はあまり重視されず

Ex) 源氏、平氏、藤原氏、橘氏 (○○の)...

家 (households) = 相続 (inheritance)

- 家名 (苗字・屋号)
  - 地位 (官位・官職・爵位)
  - 家職
  - 財産 (金銭・家屋・家領・家宝)
  - 家政組織
  
  - 父系・母系・養継嗣・後世での再興・その他  
(時代・地域・階級・宗教等により大きく異なる)
  - 能力や人柄が重視される場合も少なくない
- Ex) 徳川家・足利家 (源氏)、北條家・織田家 (平氏)...

## 主要参考文献

- 浅見雅男『伏見宮 もうひとつの天皇家』講談社、平成24年
- 浅見雅男『皇族と天皇』筑摩書房、平成28年
- 石川泰士『近代皇室と仏教 国家と宗教と仏教』原書房、平成20年
- 小笠原長生編『依仁親王』東伏見宮家、昭和2年
- 小倉慈司・山口輝臣『天皇の歴史09 天皇と宗教』講談社、平成23年
- 宮内庁書陵部編『皇室制度資料 皇族四』吉川弘文館、昭和61年
- 杉田善雄『幕藩権力と寺院・門跡』思文閣、平成15年
- 高久嶺之介「近代皇族の権威集団化過程その1 近代宮家の編成過程」(『社会科学』27、昭和56年、156-208頁)
- 田島教恵『淑女鑑』文永館、大正3年
- 筑波常治『破約の時代』講談社、昭和34年
- 辻博仁「近世期における世襲親王家の維持と女性当主」國學院大學修士論文、平成31年
- 藤田大誠「幕末維新时期における宮門跡の還俗に関する一考察『中央の神仏分離』研究の一環として」(『國學院大學日本文化研究所紀要』96、平成17年、63-116頁)
- 藤田大誠「近代皇族制度の形成と展開」(『藝林』59-1、平成22年、124-171頁)
- 美馬弘「もう一つの宮廷文化 尼門跡寺院の信仰と歴史」(『中外日報』令和3/09/13) URL: <https://www.chugainippoh.co.jp/article/ron-kikou/ron/20210901-001.html>
- 山階會編『山階宮三代』山階會、昭和57年

**Thank you for your attention.**

**御清聴有難うございました。**